

まちプロ会議 第13回

2025.7.19
14:00~16:00

蒲郡市民会館大会議室

… 今回の内容 …

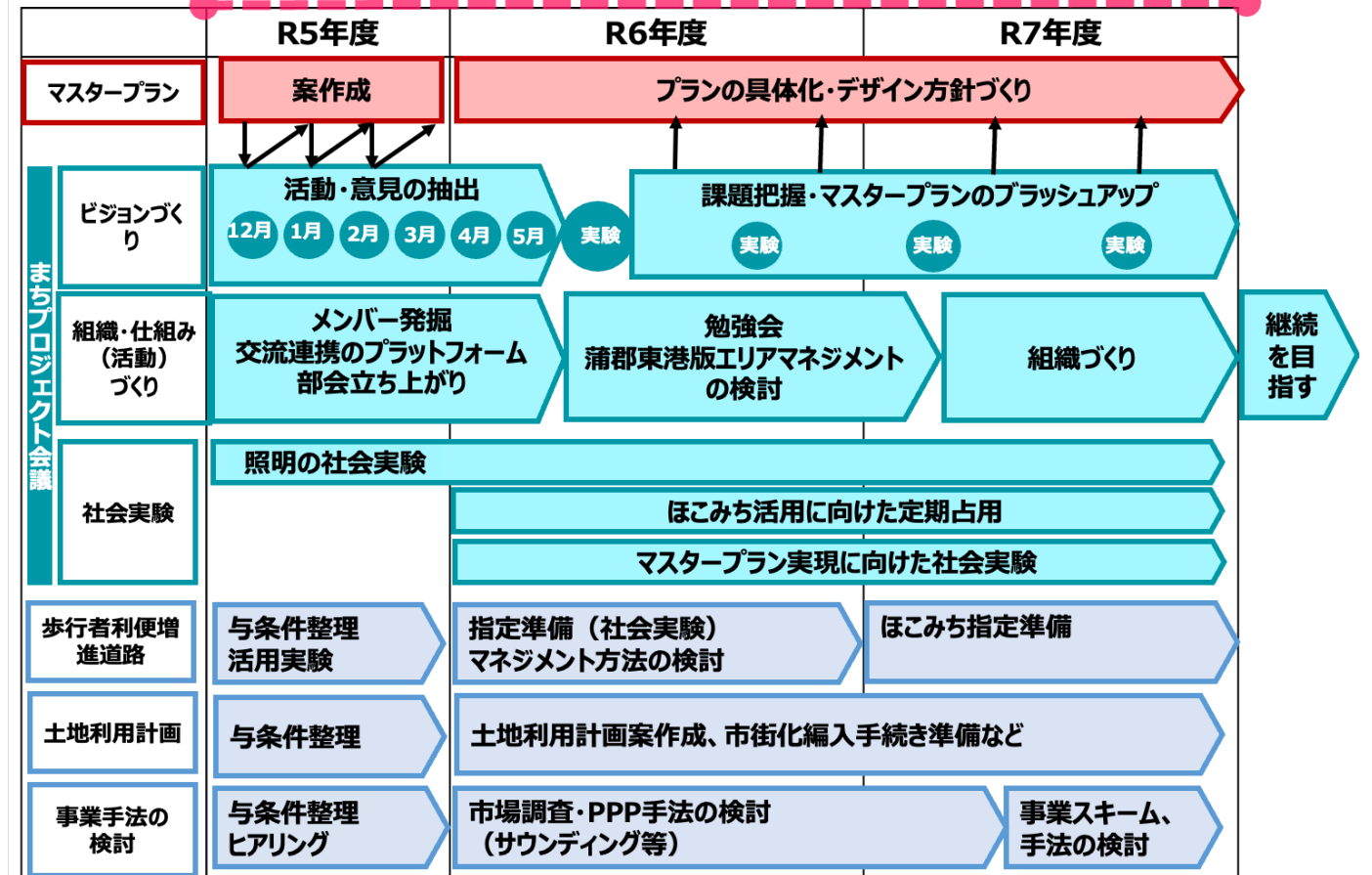
- 前回まちプロ会議で確認した竹島ふ頭の更新デザイン・モニュメント案・水景に関するご意見・ご質問振り返り
 - ・円形になり、ざくばらんに対話しました
 - ・前回会議での意見・質問について議論・回答しました
- 社会実験の進捗報告
 - ・出店者・来場者の感想、意見を伺いました
- 各チームの活動報告
 - ・GAMAHALLOWEEN
 - ・がまきたいっか
 - ・うみまちマルシェ
 - ・みなとみらいの朝市



01 まちプロジェクト会議のこれから（案）

●進捗や皆さんとの議論を踏まえて変更していきます

ハートアーム支援



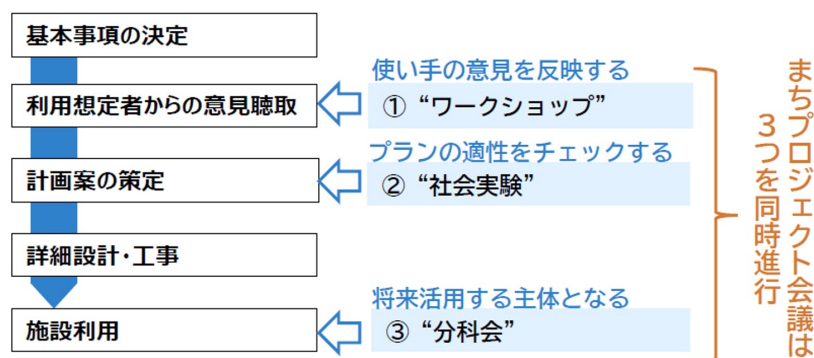
02 社会実験出店者・来場者の感想

まちプロ会議参加者の方々から社会実験の感想、意見を伺いました

- 「どうやって人を呼ぶかを考えました！」
 - ・遠くからも見えるように、物販と飲食のトレーラーの間に目立つ色（白）のブランコベンチやタープを置いてみました
 - ・子どもたちにとって楽しいものがあることでお母さんたちの滞留時間も長くなりお腹も空く、買い物してもらえと思いました
- 「ワンちゃんに関わるニーズがみられた！」
 - ・ワンちゃん連れのお客さんがリピート、遠方からも来ていました
 - ・飲食で14日間、物販で4日間と一番長く出店する間に何度も足を運んでくれる人ができました
 - ・ドッグカフェやドッグランが将来できると嬉しい
 - ・マリンセンター前芝生のフェニックスの木や四阿で休憩する人が多い、ぜひ残してほしいです
 - ・犬を飼っているため犬好きの人たちが集まることを予想していましたが、子ども連れのお母さんたちの交流の場にもなりました
- 「みんなで知恵を出し合い課題を解決していけば良い！」
 - ・ずっと蒲郡に住んでいるのに、竹島ふ頭に入るきっかけはありませんでした
 - ・朝はさわやか、夕陽がすごく素敵で、夜は夜景がきれいでした
 - ・日常的にやっていけば、人は絶対に来ると感じました
- 「停泊船も竹島ふ頭のランドマーク！」
 - ・西浦や形原方面から眺めると竹島ふ頭に停泊している船もランドマーク的に見えます
 - ・新鮮なメヒカリなどを提供できると人が来るのではないかと思います
- 「高齢者にも情報を伝えたい！」
 - ・高齢者への情報発信ができると、憩いの場所としての集客にもつながると思いました
 - ・コロナ予防接種申込にLINEを使った経緯があるため、蒲郡市ではLINEが高齢者への情報提供に有用と思われます

まちプロジェクト会議は3つを同時進行

●「みなとまちVillage」の経験を活かし新しい空間を詳細検討、Villageで皆で集ったステキな空間を実現しよう！



●他にもいろいろな感想、意見を伺いました

- ・（出店に際し）トレーラーのように建物があることはすごくありがたかったです
- ・雨の日に行ったが、トレーラーの中に入ると景色もよく、ゆったりとした時間が過ごせました
- ・継続的・定期的にやることが重要であり、認知度が高まると思います
- ・駅からの距離が遠いのでどうやって人を呼び込むかを考えている
- ・土曜日の日中などは、アピタですら人がいないのが現状です
- ・駅で降りるサラリーマンが夜寄れる場所のニーズを感じています
- ・行政が官民連携でお店を出して、官民連携のきっかけが生まれていることが有意義だと思いました

03 竹島ふ頭の更新デザイン・モニュメント案・水景に関するご意見・ご質問振り返り

●全員でテーブルを囲み、前回まちづくりプロジェクト会議でお答えしきれなかったご質問についてお答えしました

- Q1** 風が強いところなので、風の対策、テント設置時に使えるペグなどを検討していますか？
A → 芝生などの緑地ではペグを刺してもらえるように、ペグの刺さらない舗装面では、フックを（つまずきの原因にならないように）常設し、容易にロープをくくりつけてもらえるように検討中です。
- Q2** 直射日光を避ける工夫はありますか？
A → 現在行っている社会実験では季節風が吹く中で準備し、暑さが厳しくなる中で運営する皆さんの声を聴き、風や日光への対策が必須であると実感しています。竹島ふ頭の東側は全天候型空間を目指したいと思っています。一年を通して楽しく利用してもらえるように継続的に検討していきます。暑さ対策としての水景の提案、タープやテントなど、設計と運用で工夫していきます。
- Q3** 潮水が風で飛んできた時の洗浄設備はありますか？
A → 整備の中で、イベント開催時や維持管理に必要な給水栓を設置していきます。水飲み場や手洗い場施設も検討していきますので、イベント出店の方や日常的にふ頭に遊びに来られる時に利用できる水栓を検討します。
- Q4** 駐車場はどうなりますか？
A → 将来の利用を想定し、必要な駐車台数を整備します。なお、歩行者が安全で安心して回遊できるように、自動車等が通行する場所や駐車場の配置を検討していきます。
- Q5** 駐輪場はどうなりますか？
A → 集約型の駐輪場ではなく、分散させるなど適宜配置し、まち全体の自転車ネットワークの一部となるよう、自転車でも移動しながら港の空間を楽しんでもらえる工夫をしていきます。
- Q6** アピタの東口に「おばあちゃんのケモノ道」がある、残してほしい。スロープも。
A → 今後、実態調査の結果を元に、警察と協議し、安全かつ利便性の高い歩行者動線となるよう検討を進めていきます。
- Q7** アピタ前のホコミチ東側の車道は緊急車両やコインブース駐車場にしたい。
A → 救急車は、ホコミチ歩行空間を通過して救助活動ができます。消防活動は道路空間から問題なく行えることを消防署と確認しています。歩行者空間の充実と回遊性アップを目的としているため、縦列駐車コインパーキングを設ける想定はありませんが、エリア全体としては必要な駐車台数を確保していきます。
- Q8** 犬の散歩をよく見かけるが整備後はどうなっちゃうのかな？
A → 整備後は、もっと便利にワンちゃんとお散歩してもらえるようになります。



- Q9** 大屋根があると花火が見づらくなるのではないですか？
A → 全天候型空間を目指す中で大屋根という例をあげています。その場合、屋根下からは見えなくなりますが、現在の花火観覧状況をみると大きな支障にはならないと見ています。これまでも3D空間の中で3尺玉などがどのように見えるかを検討してきましたが、実際の整備設計段階では更に検討を深めていきます。
- Q10** 花火の燃えカスが屋根についても大丈夫ですか？
A → 燃えカス対策を踏まえた材料による設計を進めます。
- Q11** ふ頭の芝生部分に高さがついているとテント設置に困る、子供の転落が心配。
A → 芝生部分が高くなっている場合は、スロープなどを設置し、車椅子やベビーカー、台車でも入りやすくなる工夫を検討しています。高さは最大45センチ程度と低く、座るのに便利な高さを想定しています。
- Q12** 災害時の防波・防潮対策や防災について、もう少し詳しく説明してください。
A → 整備の中では、ふ頭利用者のための避難ルートを確認しながら、建築床高さを津波被害を回避できるように設定するなどの防災対策を考えています。
- Q13** ミストは女性にとっては、うっとしいかも。
A → ミスト設備と確定してはいませんが、ミストを設置する場合は、粒子が細かく、涼しく感じても服などが濡れにくいミストを想定しています。ミストが設置されていない歩行空間や広場空間も想定し、利用者が選べるようにしていきます。
- Q14** 維持管理費はどのくらいになるの？整備ばかりではなく維持管理にもお金を使って。
A → 収益事業を行う民間事業者に維持管理してもらおうエリアも想定し、適正な維持管理費を設定します。



05 2025年度まちプロ会議スケジュール

※スケジュールは、変更となる場合があります

2025年	11	12	13	14	15	16	17	18
4月18日(金)	6月6日(金)	7月19日(土)	9月5日(金)	10月24日(金)	12月13日(土)	1月24日(土)	3月6日(金)	
18:00~	18:00~	14:00~	18:00~	18:00~	14:00~	14:00~	18:00~	